

新型コロナウイルスの感染拡大で医療現場には大きな負荷がかかり、学会・研究会などの制限で学術・研究面にも悪影響が続いている。さらに地球温暖化の影響で、豪雨をはじめとした自然災害も深刻である。地球の長い歴史をみると大きな気候変動があり、医学の歴史をみるとかつては感染症が主なターゲットであった。より短いスパンで50～100年前の日本人の生活を振り返ると、農林水産業の第一次産業に従事する、すなわち自然の恵みを糧に生活する世帯が多かった。八百万の神を崇める日本人の信仰心の原点は、「自然崇拜」にある。四季折々の豊かな自然を身近に感じつつ日々生活してきた日本人には、自然を征服して制御するという欧米的発想はなく、身体感覚として自然の理不尽さも謙虚に受け入れ、個々人が道徳観や倫理観をもって、柔軟に穏やかに対処する知恵があったのではないかとも思う。昨今の問題も、経済優先で自然を破壊し、高度の産業化や都市化を急速に進めてきた影響であるが、過去には戻れない。せめて個人のレベルでは、古来の日本人の心性で現在の状況を受け入れ将来展望できないか、先人の知恵から学べないかと思っている。

さて、今月の特集は、硬膜に一次的病変があり神経系に影響を及ぼすさまざまな疾患、“duropathy”である。かつての病理解剖時の経験で、頭蓋骨に強固に張り付いている脳硬膜に対して、脊髄硬膜は特に前面で薄くて弱かったのを記憶している。脊髄硬膜はまた脊椎の動きに伴う機械的ストレスにさらされながら、中の神経組織を保護している。この臨床的には「日陰者」の硬膜に注目して、広く深く眺めた特集である。脊髄硬膜および硬膜外腔を占める静脈叢の解剖の詳細から duropathy の概念と代表的疾患、さらに髄液減少症からみた髄液動態の新しい考え方など、最新の知識や話題が紹介されており、大変刺激的であった。“マニアの雑誌”といわれる本誌の面目躍如たる、専門家をも唸らせる濃い内容となっている。ぜひ、自宅にこもって精読していただきたい。

(亀山 隆)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 高橋 昭 金田清志
小山素麿 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
金 彪 (副編集委員長)
青木茂樹 亀山 隆 園生雅弘
高橋敏行 谷 論 筑田博隆
永島英樹 中村雅也 根尾昌志
原 政人 飛驒一利 松山幸弘

Vol. 33 No. 9
(2020 年 9 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,500 円 + 税)

(配送料別)

年ごめ予約購読料 33,300 円 + 税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2020,
Printed in Japan

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。